



NPO PTPL “ともいき” 便り No.58

平成 26 年（2014 年）8 月 23 日発行

■処暑（しよしよ） 8 月 23 日から 9 月 7 日までの節気

暑い夏でした。と、過去形ではまだ言えない気分ですが、8 月 23 日から「処暑」の節気に入ります。暑さが峠を越え、しだいに後退していく頃です。「残暑」という言葉がありますが、「立秋を過ぎてもまだ残っている暑さ」（国語辞典/角川書店）を意味します。この言葉の中に、涼しい秋を待ち望む気持ちが感じ取れます。また「忘れ扇」という言葉があります。しだいに涼しくなって秋が深まるにつれ、手にとられることがなくなり部屋の片隅に置きっぱなしにされた「団扇」や「扇」のことを言います。そんな光景にも夏の余韻を感じてしまう日本人の感性はとても繊細だなと思います。

今年の夏は仮住まいの近くの公園で、セミの羽化を何度も目にしました。犬の散歩に行くのが 8 時半から 9 時ごろで、ちょうど背中が割れて羽化を始めたばかりのセミ、体の半分が出ていて羽がくるっと丸まっているセミ、すっぽり体全体が外に出て、羽を伸ばしたままじっとしているセミ。羽化する場所をみつけて小道を横断しているものもいました。色は白く、とてもきれい。小さなセミはツクツクホウシ、ニイニイゼミ。大きなセミはアブラゼミ、ミンミンゼミでしょうか。公園を歩いていると、「カナカナカナ」とヒグラシの声も聞こえてきました。地面にはポツポツとセミが出てきた穴があいていました。公園を管理している人の話では、セミが穴を掘り続けて地上に顔を出したとたん、カラスに食べられてしまうこともあるそうです。夜、静まった公園で羽化できるセミたちは幸運。そして羽化できる自然が少しでも残されていることは幸運。みなさまの家の近くでは、この夏、セミの声は聞けましたか。

9 月 1 日は「防災の日」です。大正 12 年 9 月 1 日、関東大震災が発生し、甚大な被害を生じました。この震災を教訓にしようと制定されたのが「防災の日」

です。私の亡くなった祖母が、「ちょうどお昼頃で、すごい揺れだったよ。しゃがみながら、おはぎを食べたんだよ」と話してくれたことを思い出します。ちょうど、おはぎをこしらえていたのだそうです。揺れながらも食べられたのですから、被害はそんなにひどくなかったのかもしれない。

ともいき暦によると、9月1日は「立春から210日目。(略)この頃から台風が来襲するようになり…」とあります。宮沢賢治の「風の又三郎」も、この二百十日の風によってやってきたと書かれています。「どっどど どどうど どどうど どどう 青いくるみも吹きとばせ すっぱいかりんも吹きとばせ どっどど どどうど どどうど どどう」(「風の又三郎」/岩波書店)。宮沢賢治が言葉に表現した二百十日の風の音。大風の迫力が伝わってきます。富山県八尾町で、9月1日から行われる「越中おわら風の盆」は、二百十日の風の被害が起きないことを祈る行事として「風の盆」という名がついたそうです。300年余りも前から歌い踊られてきたお祭り。自然への畏敬の念を感じます。

季節は、秋へと一歩一歩向かっています。皆さま、くれぐれも夏の疲れが出ませんように。

すとうあさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

「地球温暖化」

観測史上、最大の雨量とか最高気温とか連日続く熱帯夜といった異常気象を訴える表現をテレビ、新聞のニュースで、よく耳にするようになりました。

(広島市で起きた土砂災害は8月21日現在、死者39名、行方不明者7名、救出活動は昼夜にわたり、今も続いています。またアメリカ西海岸では干ばつ、山火事、東海岸では洪水、浸水、増水に苦しめられています。)

自然現象、異常気象は複雑ですから、猛暑や豪雨の直接の原因が地球温暖化とは断定できませんが、温暖化が進めば、今まで経験したことのない極端な気温や雨量が世界的に増えるのは間違いないでしょう。

世界は豊かさを求めて石油、石炭を消費し、CO₂を排出し続けてきましたが化石燃料を大量に消費し続ける社会は持続可能ではありません。温暖化の抑制に

世界中で一日も早く取り組まないと将来に深刻な「つけ」を回すことになりま
す。禍根は絶たねばなりません。

世界中の人々が知恵と勇気を出し、希望を持って、温暖化対策を世界中で進
めねばなりません。

「空は続いているのです。空気は世界中を回っているのです。青いキレイな
空と新鮮な空気がいっぱいの地球を!!」

共に生きる「ともいき」、共に生み出す「ともうみ」、共に幸に生る「ともさ
ち」の世界を!!



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

●2015年度版「ともいき暦」制作開始。

早いもので、もう8月も終盤。子どもたちも宿題に追いまわっているころです。NPO PTPLでは、2015年度版「ともいき暦」の制作をスタートしました。

「ともいき暦」も2009年にスタートして、2015年度版で7年目を迎えます。毎年、少しでも見やすく、馴染みやすいように工夫しながら、コンテンツも増やしていますが、さて、2015年度版にはどのようなコンテンツが追加されるか？ご期待ください。

「一日一回、“ともいき暦”」をご覧ください。そして、日常生活の中で自然のリズムといかに日本人が生きてきたかを感じ取ってください。

●広島の土砂災害

前号では台風11号、12号による四国地方に大きな被害のことについてお伝えしましたが、8月20日未明、広島市でまたまた想定以上の大雨による甚大な土砂災害が発生しました。死亡者の中には、幼い子どもたちが含まれ心が痛みます。土砂災害を報道などで見ていると、いかに日本という国が自然災害の多い国であることを改めて痛感します。しかし、先達たちは自然災害に向き合い自然に対し畏怖・畏敬の念を持って接してきたのです。ただ、無理な宅地開発や防災のあり方など再考しなければならないようです。

被災された方々には心よりお悔やみ申し上げるとともに、一刻も早い復旧を望みます。

● Facebook「ともいきぐらし」(<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)

「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」(<https://www.facebook.com/oragafuji>)

「ジャパネスク」のサイト (<http://japanesque.pw/>) をご覧ください。そしてご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

■お問合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp